

令和6年における 組織犯罪の情勢について

匿名・流動型犯罪グループ情勢……………P 1～P 2

暴力団情勢……………P 3～P 4

来日外国人犯罪情勢……………P 5～P 6

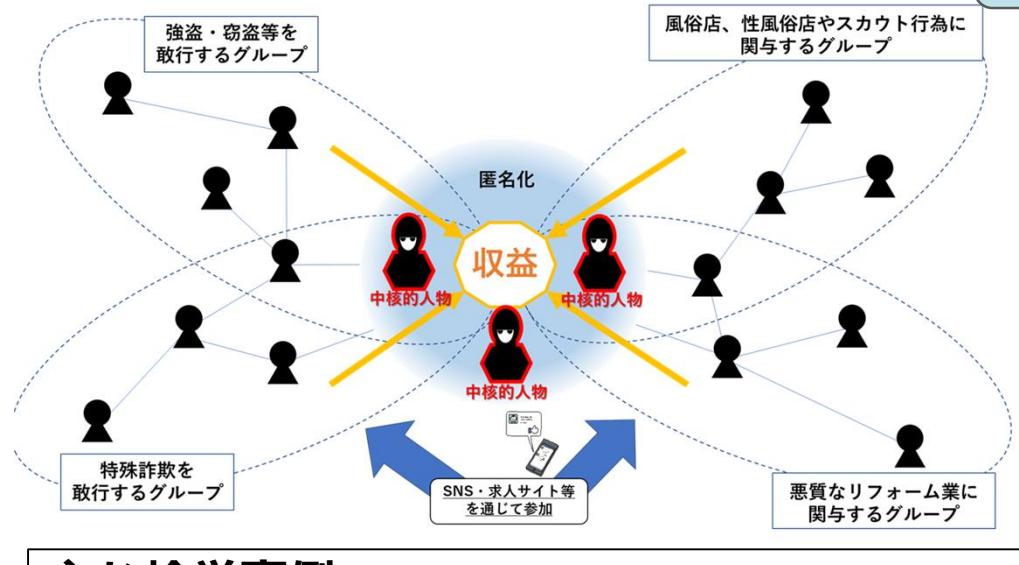
薬物・銃器情勢……………P 7～P 8

令和7年4月
警察庁組織犯罪対策部

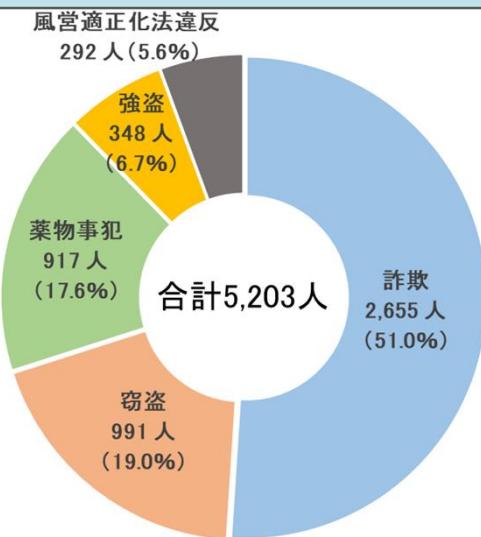
1 匿名・流動型犯罪グループ情勢 (1)

- 匿名・流動型犯罪グループは、特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺に加え、凶悪な強盗等事件、悪質ホストクラブ事犯、組織的窃盗・盗品流通事犯、悪質リフォーム事犯、インターネットバンキングに係る不正送金事犯等に深く関与するなど、治安対策上の脅威となっている。

匿名・流動型犯罪グループの特徴



匿名・流動型犯罪グループによるものとみられる主な資金獲得犯罪の検挙人員（令和6年）



主な検挙事例

- SNSを利用した職業安定法違反事件(熊本)

SNSを利用して、「高収入の1週間バイトしたい人」などと求人情報を投稿して受け子を募集していたグループの中核であった道仁会傘下組織幹部らを職業安定法違反で逮捕

- SNSで募集された男らによる強盗致傷等事件(神奈川)

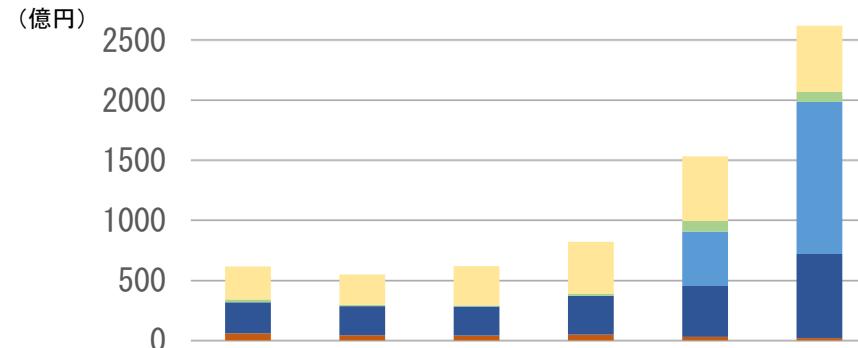
SNSで募集され、質店から腕時計を強取した男らを強盗致傷罪等で逮捕

1 匿名・流動型犯罪グループ情勢 (2)

☆トピックスI 組織的なマネー・ローンダリング事犯の実態

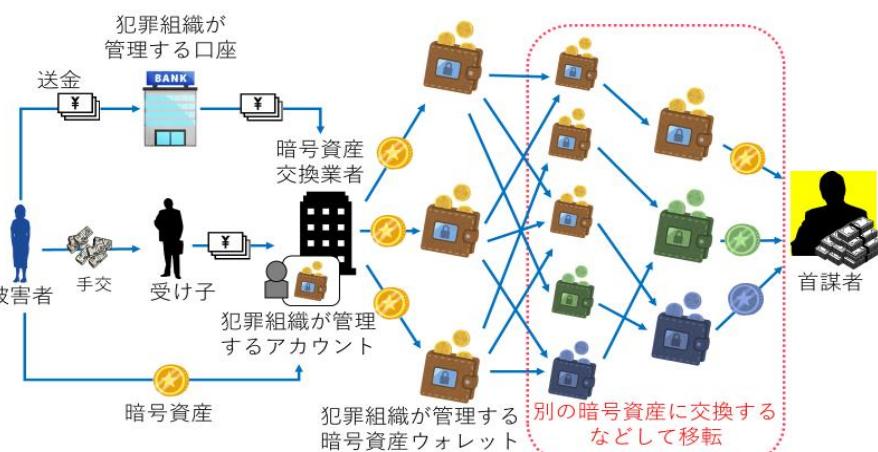
- 特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺、インターネットバンキングに係る不正送金事犯、クレジットカード不正利用事犯の合計被害額は2,631億円に上る。
- 近年、マネー・ローンダリングを専門的に行う犯罪グループが台頭し、法人口座を悪用するなど、その手口が巧妙化している。

特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺、不正送金事犯、
クレジットカード不正利用事犯の被害額の推移



※ 令和6年の特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の被害額は暫定値。						
※ クレジットカードの不正利用事犯の被害額については、一般社団法人日本クレジット協会の調査による。						

☆トピックスI
組織的なマネー・ローンダリング事犯の実態



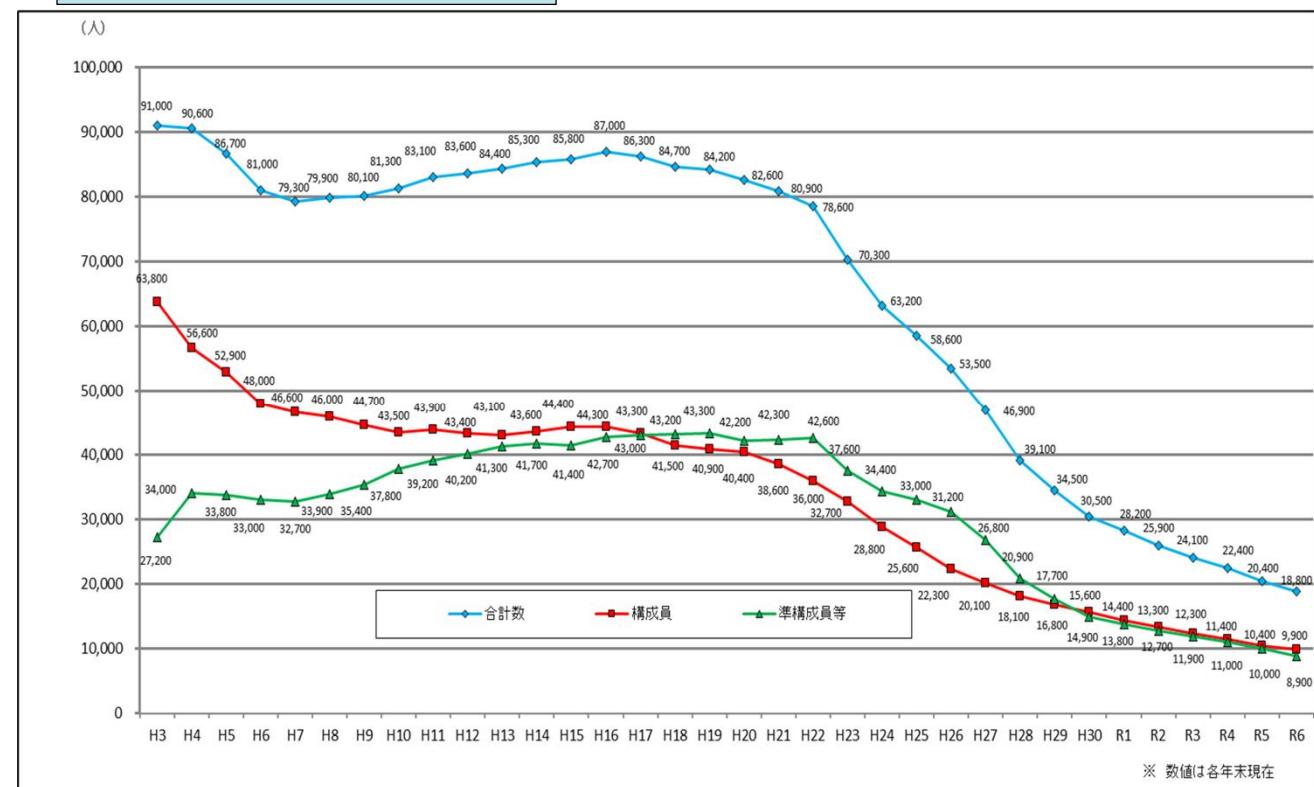
主な検挙事例

- 法人口座を悪用したマネロン事件(大阪)
SNS等でペーパーカンパニーの名義人を募集し、その法人名義で開設した口座に詐欺やオンラインカジノの犯罪収益を送金させるなどしたグループを組織的犯罪処罰法違反等で逮捕
※ 逮捕時、約500社のペーパーカンパニーに
係る約4,000の法人口座を管理

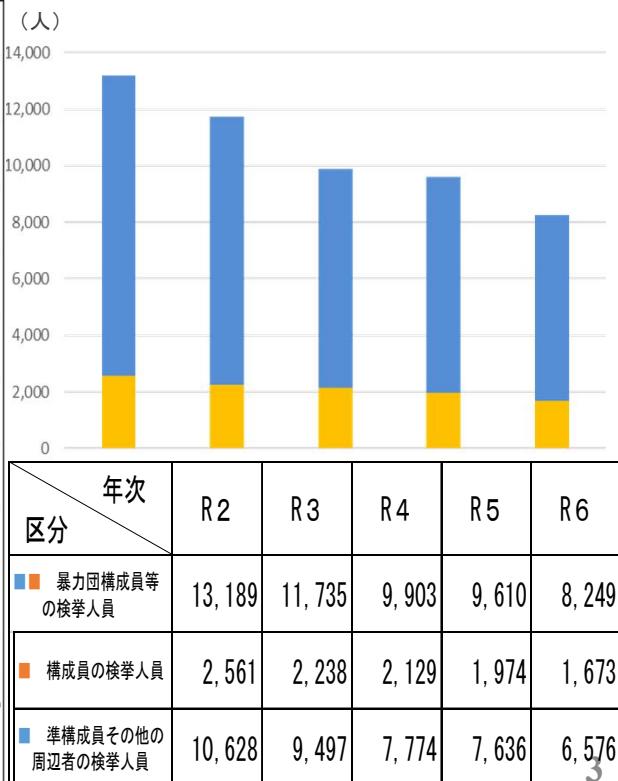
2 暴力団情勢 (1) 暴力団構成員等の状況

- 暴力団構成員等の数は、平成17年以降減少し、令和6年末現在で1万8,800人で過去最少となった。
- 暴力団構成員等の検挙人員は8,249人(前年比-1,361人、-14.2%)で過去最少となった。
- 罪種別の検挙人員は、覚醒剤取締法違反が最も多く、次いで詐欺、傷害、窃盗の順となっている。

暴力団勢力の推移

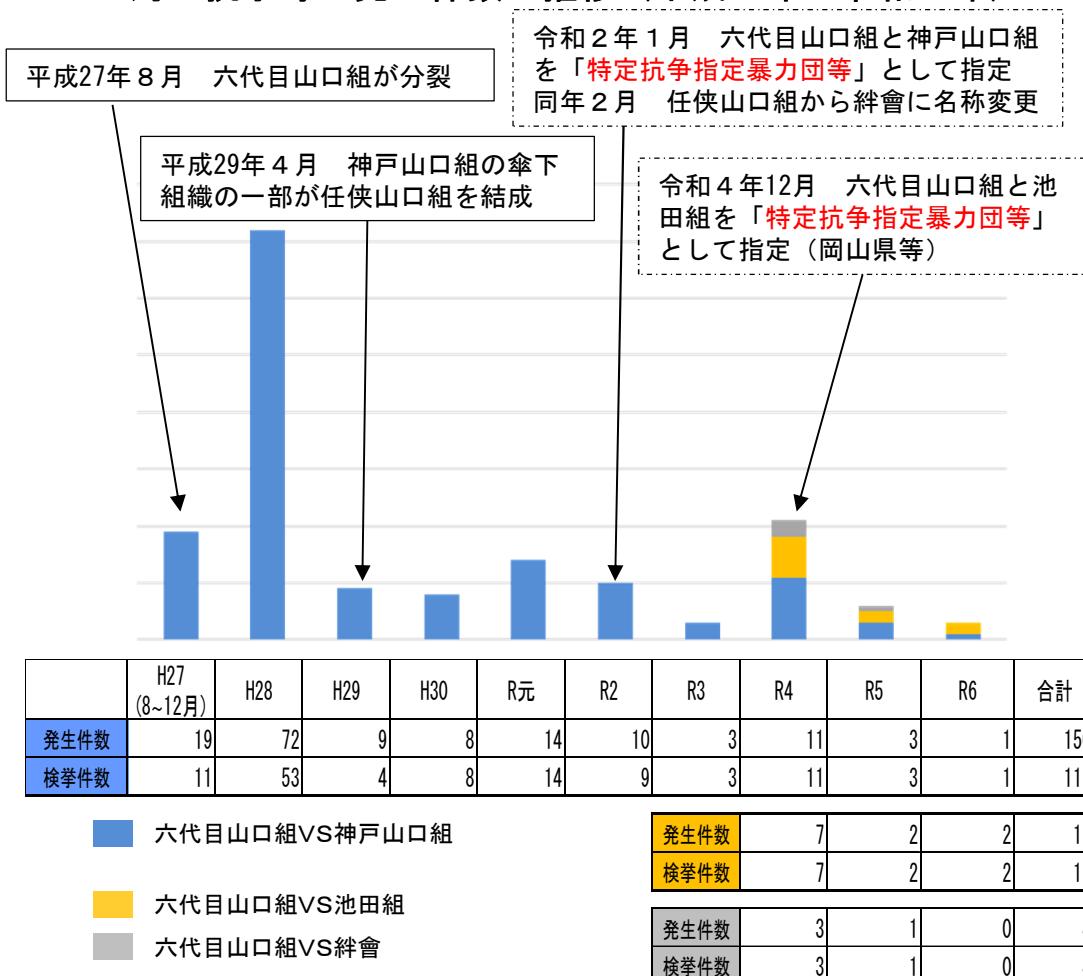


暴力団構成員等の検挙人員の推移



- 平成27年8月以降、山口組が分裂し、対立抗争事件が続発している。
- 関係府県の公安委員会が、次のとおり「特定抗争指定暴力団等」として指定している。
 - 六代目山口組と神戸山口組… 令和2年1月～継続中（警戒区域：9府県17市町）
 - 六代目山口組と池田組… 令和4年12月～継続中（警戒区域：7府県8市）
 - 六代目山口組と絆會… 令和6年6月～継続中（警戒区域：8府県10市）

対立抗争等の発生件数の推移（平成27年～令和6年）



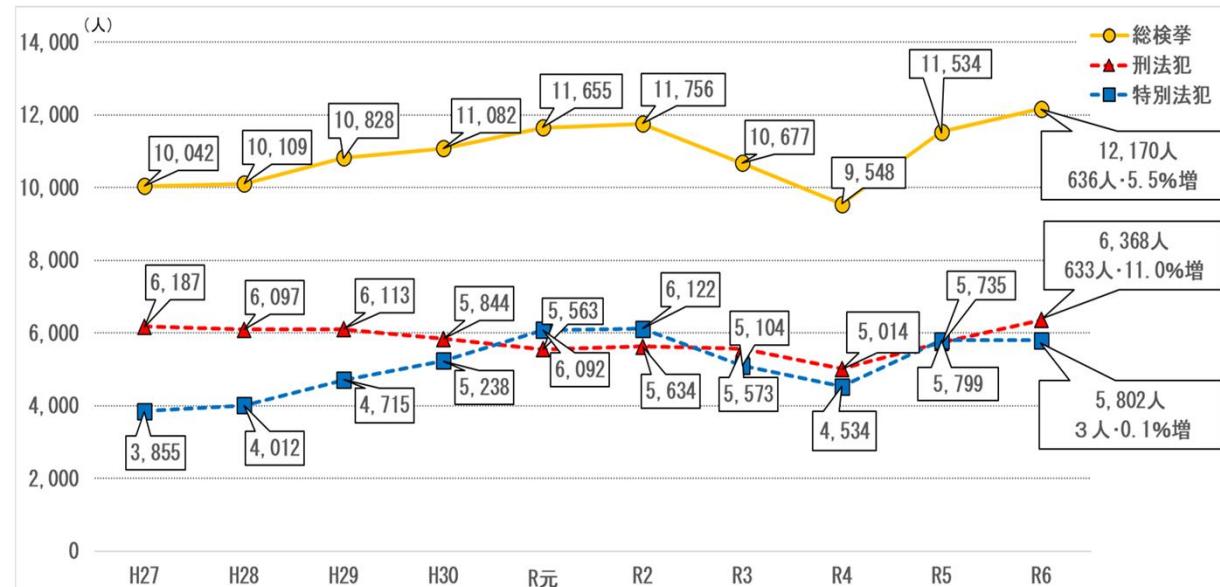
主な検挙事例

- 六代目山口組傘下組織組長による池田組傘下組織幹部の関係者方への手りゅう弾投てき事件（岡山）
- 六代目山口組傘下組織組員による池田組傘下組織幹部に対する拳銃使用の殺人事件（宮崎）
- 絆會幹部による六代目山口組傘下組織幹部に対する拳銃使用の殺人事件（茨城）

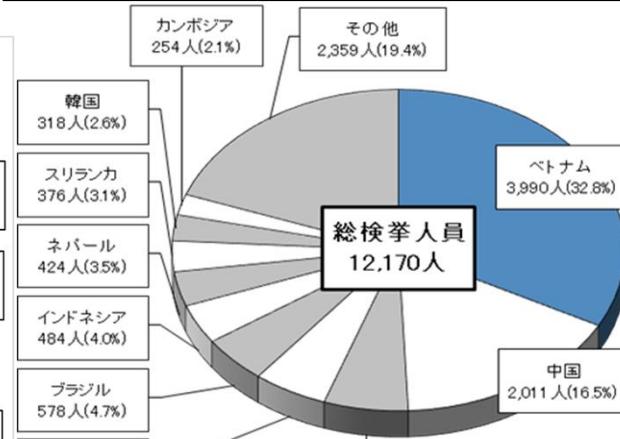
3 来日外国人犯罪情勢 (1) 検挙状況

- 来日外国人犯罪の総検挙件数は21,794件、総検挙人員は12,170人で、いずれも2年連続で増加した。
- 総検挙人員を国籍等別にみると、ベトナムが最も多く、次いで中国、フィリピンの順で、在留資格別にみると、技能実習が最も多く、次いで短期滞在、定住者、留学の順となっている。

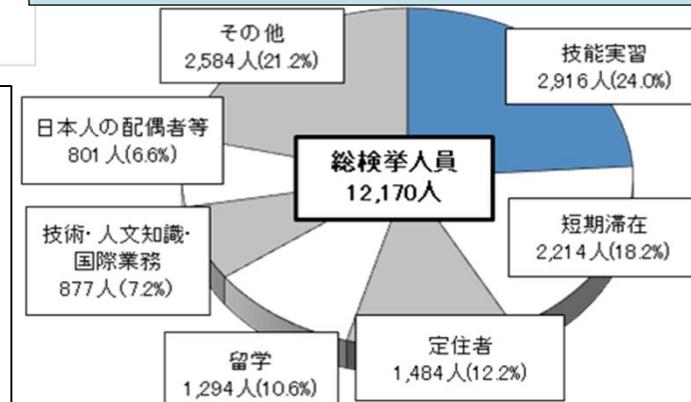
検挙人員の推移



総検挙人員に占める国籍等別の内訳



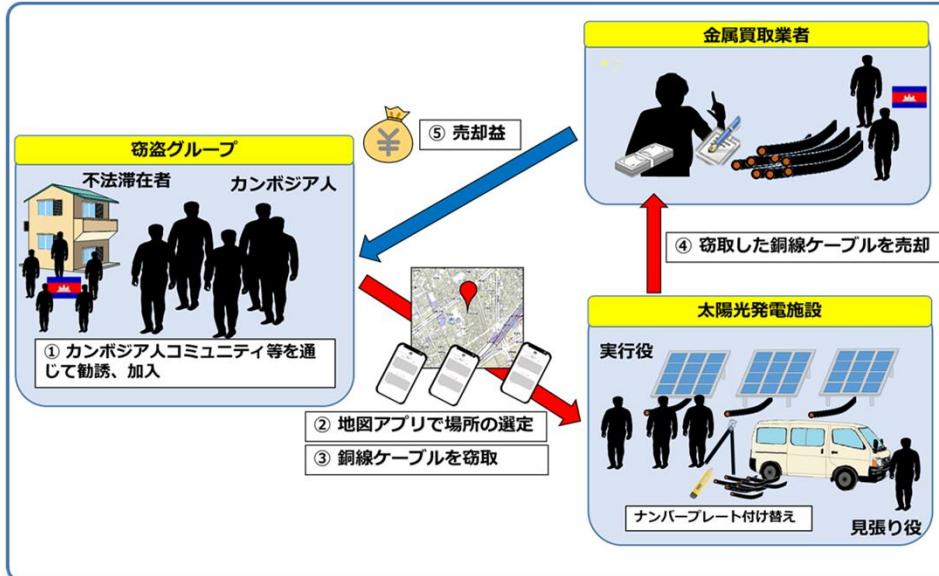
総検挙人員に占める在留資格別の内訳



主な検挙事例

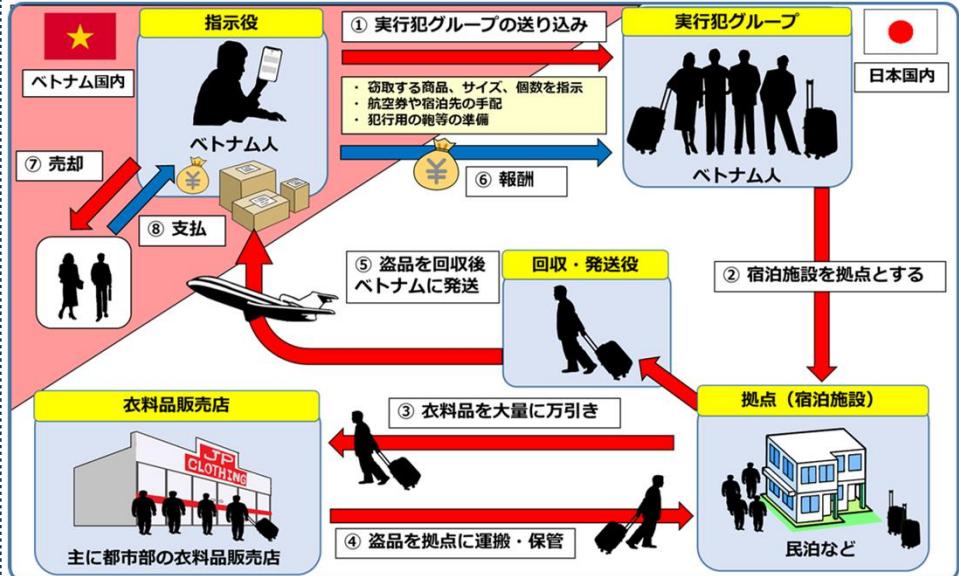
- 関東地方等の一般住宅に侵入し、包丁を示して脅迫し、身体をガムテープで緊縛するなどの暴行を加えて現金等を強取したベトナム人の男2人(技能実習)を強盗致傷罪等で逮捕

○ 太陽光発電施設対象の金属盗



- 不法滞在のカンボジア人らによる窃盗グループが、太陽光発電施設の銅線ケーブルを窃取
- 犯行場所の選定には地図アプリを活用し、ナンバープレートを付け替えた車両で移動
- 実行役と見張り役に分かれて犯行に及び、盗品を金属買取業者等に売却

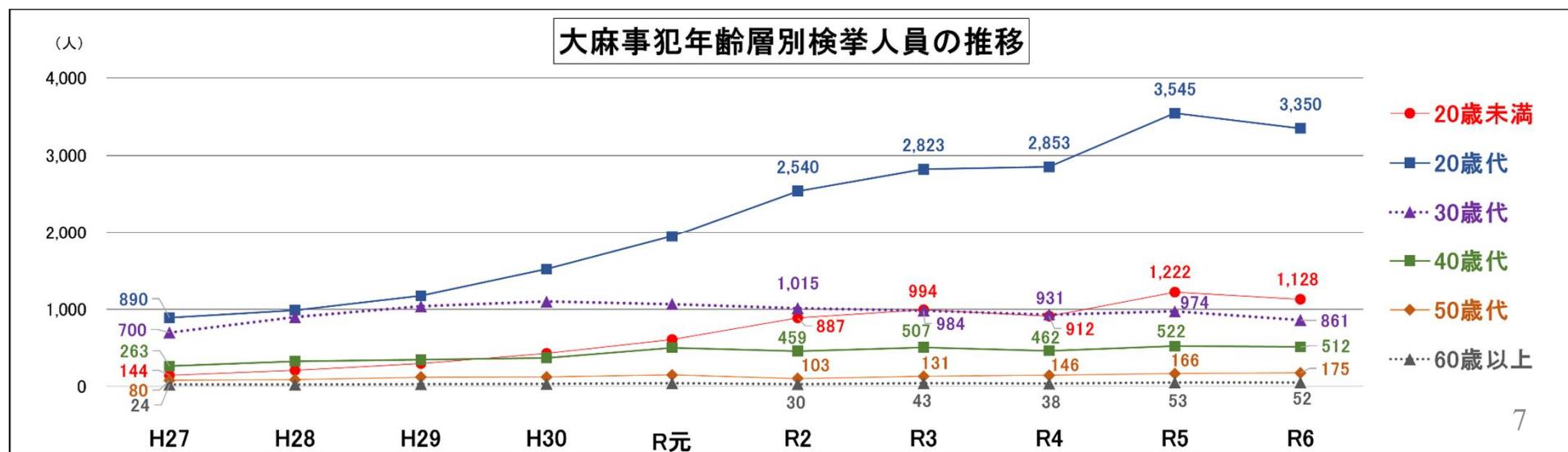
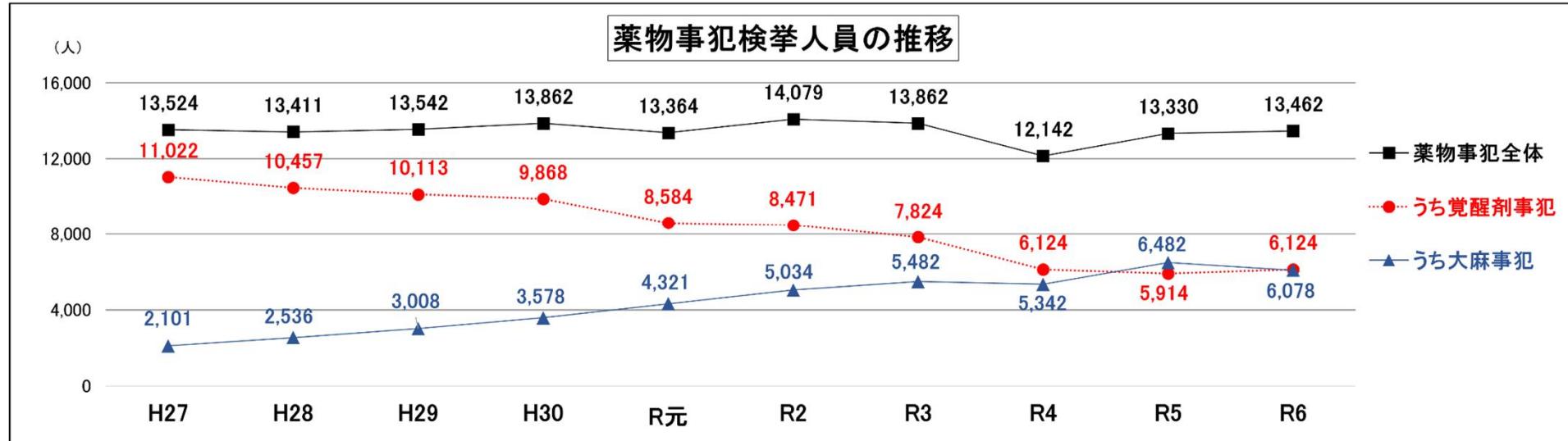
○ 衣料品販売店対象の大量万引き



- ベトナム所在の指示役の計画の下、実行役のベトナム人グループが来日し、衣料品販売店において、短期間で大量の衣料品を万引き
- ベトナム所在の指示役は、航空券や宿泊先の手配、犯行に使用する鞄の準備等を行って、実行役グループに指示
- 来日した実行役グループは、宿泊先を拠点に犯行を繰り返し、盗品をスーツケースに隠匿して拠点に運び、回収・発送役が盗品をベトナムに発送して売却

4 薬物・銃器情勢 (1) 薬物事犯の検挙状況

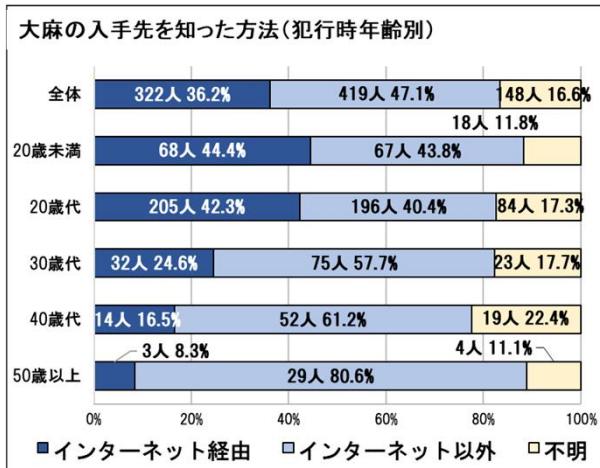
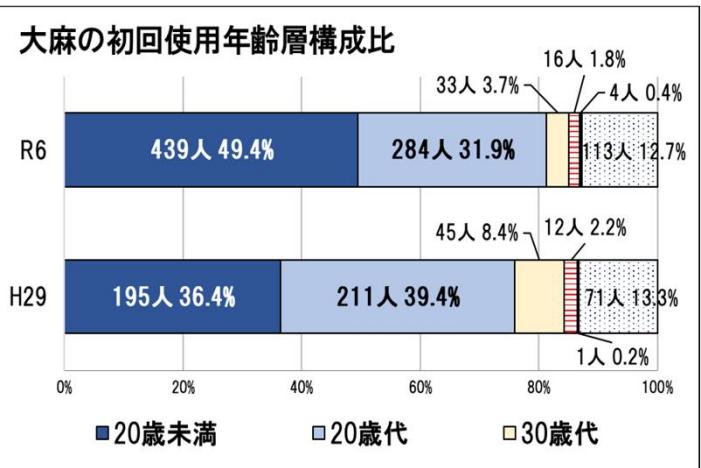
- 薬物事犯の検挙人員は13,462人で前年より増加した。
- 大麻事犯の検挙人員は6,078人で前年より減少したところ、年齢別にみると、20歳代以下の若年層が大麻事犯の全検挙人員の7割以上を占める。



4 薬物・銃器情勢 (2)

☆トピックスIV 大麻乱用者の実態 ☆トピックスV 新たな脅威に直面する銃器情勢

☆トピックスIV 大麻乱用者の実態



- 大麻が主に若年層に乱用されている実態
- インターネット(SNS)の普及により、若年層にとって大麻の入手が容易になっている状況

☆トピックスV 新たな脅威に直面する銃器情勢

近年、暴力団が関与する従来型の組織的な銃器事犯に加え、

- ローン・オフェンダーによる銃器使用事件
例: 安倍元首相銃撃事件
- 許可猟銃使用による凶悪事件
例: 散弾銃使用の立てこもり事件(埼玉)
現場臨場中の警察官射殺事件(長野)
- インターネット上における違法・有害情報の氾濫
等の新たな脅威となる銃器事犯が国内各地で発生



国内で使用されている猟銃(一例)



押収した自作銃